

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年9月27日

【四半期会計期間】 第63期第2四半期(自平成25年5月21日 至平成25年8月20日)

【会社名】 株式会社セキチュー

【英訳名】 SEKICHU CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 関 口 忠

【本店の所在の場所】 群馬県高崎市倉賀野町4531番地1号

【電話番号】 027(345)1111(代表)

【事務連絡者氏名】 経理部長 横 田 誠

【最寄りの連絡場所】 群馬県高崎市倉賀野町4531番地1号

【電話番号】 027(345)1111(代表)

【事務連絡者氏名】 経理部長 横 田 誠

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第62期 第2四半期累計期間	第63期 第2四半期累計期間	第62期
会計期間		自 平成24年2月21日 至 平成24年8月20日	自 平成25年2月21日 至 平成25年8月20日	自 平成24年2月21日 至 平成25年2月20日
売上高	(千円)	18,929,292	18,213,071	36,836,935
経常利益	(千円)	526,760	447,001	551,055
四半期(当期)純利益	(千円)	251,067	233,651	138,230
持分法を適用した 場合の投資利益	(千円)			
資本金	(千円)	2,921,525	2,921,525	2,921,525
発行済株式総数	(株)	11,172,300	11,172,300	11,172,300
純資産額	(千円)	10,411,656	10,466,900	10,323,013
総資産額	(千円)	20,301,864	19,884,690	19,793,299
1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)	22.66	21.09	12.48
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
1株当たり配当額	(円)			10
自己資本比率	(%)	51.3	52.6	52.2
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	756,563	1,042,284	94,866
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	469,391	44,366	676,262
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	554,220	674,147	157,937
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	958,076	809,560	485,790

回次		第62期 第2四半期会計期間	第63期 第2四半期会計期間
会計期間		自 平成24年5月21日 至 平成24年8月20日	自 平成25年5月21日 至 平成25年8月20日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	10.12	3.91

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結財務諸表に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 持分法を適用した場合の投資利益は、関連会社が存在しないため記載しておりません。
- 4 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等及び新たな投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生はなく、また、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等が行われておりません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、昨年末以降の政府の積極的な経済対策を背景に、輸出企業をはじめとして一部企業に業績回復の兆しがあらわれ、本格的な景気回復への期待感が高まっております。一方で、来年度に予定されている消費増税による消費低迷懸念から、依然として、先行き不透明な状況が続いております。

当ホームセンター業界におきましては、6月はほぼ前年同様に推移したものの、7月から8月にかけて気温低下のため、季節商品の動きに出遅れがありました。また、円安による原価上昇があったため、利益の減少につながりました。企業間の価格や品揃えの競争もより一層激化している状況です。

このような状況のもと、当社は、「顧客満足に向けた変革の年」をテーマに現場力の強化に取り組み、「お客様に最も信頼される商品とサービスの提供」を通じて、お客様第一主義を実践してまいりました。

店舗政策におきましては、企業収益の向上と体質の強化を目的として、自転車専門店「サイクルワールド」のスクラップ&ビルドを実施しました。（7月開店：「サイクルワールド南柏東口店」（千葉県柏市）、6月閉店：「サイクルワールド西高島平店」（東京都板橋区））

商品部門別には、リフォーム、レジャー用品は比較的堅調に推移しましたが、前年に猛暑による特需のあった園芸用品（よしず等）、インテリア用品（すだれ等）を中心に売上が伸び悩みました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高182億1千3百万円（前年同期比3.8%減）、営業利益は2億3千6百万円（同36.4%減）、経常利益は4億4千7百万円（同15.1%減）、四半期純利益は2億3千3百万円（同6.9%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

流動資産は、前事業年度と比べ2億9千5百万円増加し、79億6千4百万円となりました。これは、たな卸資産が9千3百万円減少しましたが、現金及び預金が3億2千3百万円増加したこと等によります。

固定資産は、前事業年度と比べ2億3百万円減少し、119億1千9百万円となりました。これは、差入保証金が2億9千3百万円減少したこと等によります。

この結果、総資産は、前事業年度と比べて9千1百万円増加し、198億8千4百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度と比べて1億5千1百万円増加し72億4千7百万円となりました。これは、短期借入金が2億7千9百万円減少しましたが、買掛金が2億1千5百万円増加したこと等によります。

固定負債は、前事業年度と比べて2億4百万円減少し、21億7千万円となりました。これは、長期借入金(1年内返済分を除く)が2億円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前事業年度と比べ5千2百万円減少し、94億1千7百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度と比べ1億4千3百万円増加し、104億6千6百万円となりました。これは、利益剰余金が1億2千2百万円増加したこと等によります。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比べ3億2千3百万円増加し8億9百万円となりました。当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、10億4千2百万円(前年同四半期比2億8千5百万円、37.8%増)となりました。これは税引前四半期純利益が3億4千9百万円(前年同四半期比8千4百万円、19.4%減)、減価償却費が2億2百万円(前年同四半期比1千8百万円、10.1%増)、仕入債務の増加額が2億1千5百万円(前年同四半期比1千4百万円、7.2%増)があったこと等によります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、4千4百万円(前年同四半期比4億2千5百万円、90.5%減)となりました。これは有形固定資産の取得による支出が1億3千6百万円(前年同四半期比7億4千5百万円、84.5%減)があったこと等によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、6億7千4百万円(前年同四半期比1億1千9百万円、21.6%増)となりました。これは短期借入金の純増減額が2億7千9百万円減少したこと(前年同四半期比7億2千万円、72.0%減)、長期借入金の返済による支出が2億8千3百万円(前年同四半期比5百万円、1.7%減)あったこと等によります。

(4) 事業上及び財政上の対処すべき課題

当第2四半期累計期間において、当社の事業上及び財政上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	25,000,000
計	25,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年8月20日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年9月27日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	11,172,300	11,172,300	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は 1,000株であります。
計	11,172,300	11,172,300		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年8月20日		11,172,300		2,921,525		3,558,349

(6) 【大株主の状況】

平成25年8月20日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
有限会社サウス企画	東京都北区中里1-9-12-904	5,015	44.88
セキチュー取引先持株会	群馬県高崎市倉賀野町4531-1	1,295	11.59
アトム総業株式会社	群馬県高崎市並榎町134-1	570	5.10
株式会社群馬銀行 (常任代理人 資産管理サービ ス信託銀行株式会社)	群馬県前橋市元総社町194 (東京都中央区晴海1-8-12 晴海アイラン ドトリトンスクエアオフィスタワーZ棟)	397	3.55
関口忠弘	東京都北区	330	2.95
関口忠	群馬県高崎市	330	2.95
関口礼子	群馬県高崎市	329	2.94
セキチュー従業員持株会	群馬県高崎市倉賀野町4531-1	309	2.77
株式会社しまむら	埼玉県さいたま市北区宮原町2-19-4	307	2.74
株式会社足利銀行	栃木県宇都宮市桜4-1-25	202	1.81
計		9,087	81.33

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年8月20日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 94,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 11,039,000	11,039	
単元未満株式	普通株式 39,300		1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	11,172,300		
総株主の議決権		11,039	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社保有の自己株式94株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年8月20日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社セキチュー	群馬県高崎市倉賀野町 4531 1	94,000		94,000	0.84
計		94,000		94,000	0.84

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間(平成25年5月21日から平成25年8月20日まで)及び第2四半期累計期間(平成25年2月21日から平成25年8月20日まで)に係る四半期財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は、子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1【四半期財務諸表】
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年2月20日)	当第2四半期会計期間 (平成25年8月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	785,790	1,109,560
売掛金	420,167	465,684
たな卸資産	¹ 6,017,729	¹ 5,924,090
その他	446,051	465,550
流動資産合計	7,669,738	7,964,885
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,225,085	3,120,899
土地	2,788,924	2,783,511
その他(純額)	751,433	750,937
有形固定資産合計	6,765,442	6,655,348
無形固定資産	322,826	352,873
投資その他の資産		
差入保証金	4,178,728	3,884,738
その他	1,092,621	1,077,644
貸倒引当金	236,058	50,800
投資その他の資産合計	5,035,291	4,911,582
固定資産合計	12,123,560	11,919,804
資産合計	19,793,299	19,884,690
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,070,509	5,286,401
短期借入金	679,950	400,000
1年内返済予定の長期借入金	497,234	413,894
未払法人税等	-	138,443
賞与引当金	68,770	67,904
賃借契約損失引当金	19,036	19,323
その他	760,413	921,639
流動負債合計	7,095,914	7,247,605
固定負債		
長期借入金	1,096,538	896,516
役員退職慰労引当金	609,053	617,890
賃借契約損失引当金	30,842	21,180
資産除去債務	259,200	276,232
その他	378,737	358,364
固定負債合計	2,374,370	2,170,184
負債合計	9,470,285	9,417,790

	前事業年度 (平成25年2月20日)	当第2四半期会計期間 (平成25年8月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,921,525	2,921,525
資本剰余金	3,558,349	3,558,349
利益剰余金	3,830,971	3,953,832
自己株式	36,575	36,921
株主資本合計	10,274,271	10,396,786
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	48,741	70,113
評価・換算差額等合計	48,741	70,113
純資産合計	10,323,013	10,466,900
負債純資産合計	19,793,299	19,884,690

(2)【四半期損益計算書】
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年8月20日)
売上高	18,929,292	18,213,071
売上原価	13,919,383	13,352,072
売上総利益	5,009,908	4,860,998
販売費及び一般管理費	4,638,663	4,624,811
営業利益	371,245	236,187
営業外収益		
受取利息	26,498	22,881
受取配当金	4,136	4,987
受取賃貸料	271,874	242,006
その他	57,340	149,546
営業外収益合計	359,849	419,421
営業外費用		
支払利息	8,343	7,114
賃貸収入原価	186,581	160,892
その他	9,410	40,599
営業外費用合計	204,335	208,607
経常利益	526,760	447,001
特別損失		
減損損失	23,133	97,403
賃借契約損失引当金繰入額	29,531	-
貸倒引当金繰入額	40,488	-
特別損失合計	93,153	97,403
税引前四半期純利益	433,606	349,598
法人税、住民税及び事業税	181,473	108,783
法人税等調整額	1,065	7,163
法人税等合計	182,538	115,946
四半期純利益	251,067	233,651

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年8月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	433,606	349,598
減価償却費	184,246	202,767
減損損失	23,133	97,403
貸倒引当金の増減額(は減少)	41,029	185,258
賞与引当金の増減額(は減少)	5,226	866
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	16,812	8,837
賃借契約損失引当金の増減額(は減少)	9,578	9,375
受取利息及び受取配当金	30,634	27,869
支払利息	8,343	7,114
その他の固定資産の増減額(は増加)	-	195,037
売上債権の増減額(は増加)	71,746	45,516
たな卸資産の増減額(は増加)	270,748	93,638
仕入債務の増減額(は減少)	201,362	215,891
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(は減少)	4,228	1,301
その他	74,852	101,742
小計	1,143,171	1,004,447
利息及び配当金の受取額	11,463	10,239
利息の支払額	6,464	5,513
法人税等の支払額	391,606	11,073
法人税等の還付額	-	44,185
営業活動によるキャッシュ・フロー	756,563	1,042,284
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	300,000	-
有形固定資産の取得による支出	882,686	136,915
有形固定資産の売却による収入	983	54,647
投資有価証券の取得による支出	1,801	1,801
差入保証金の回収による収入	183,292	122,356
差入保証金の差入による支出	4,399	5,573
その他	64,779	77,081
投資活動によるキャッシュ・フロー	469,391	44,366
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	1,000,000	279,950
長期借入れによる収入	900,000	-
長期借入金の返済による支出	288,372	283,362
自己株式の取得による支出	176	346
配当金の支払額	165,671	110,488
財務活動によるキャッシュ・フロー	554,220	674,147
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	267,047	323,769
現金及び現金同等物の期首残高	1,225,123	485,790
現金及び現金同等物の四半期末残高	958,076	809,560

【会計方針の変更等】

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成25年2月21日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益は3,139千円増加しております。

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

1 たな卸資産の内訳

	前事業年度 (平成25年2月20日)	当第2四半期会計期間 (平成25年8月20日)
商品	5,993,776千円	5,900,515千円
貯蔵品	23,952	23,574
計		

2 保証債務等

ローンコミットメント

	前事業年度 (平成25年2月20日)	当第2四半期会計期間 (平成25年8月20日)
エスケイシー・ファンディング・コーポレーション	279,137千円	235,995千円

(四半期損益計算書関係)

販売費及び一般管理費の主なもの

	前第2四半期累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年8月20日)
給料及び手当	1,481,405千円	1,497,545千円
賞与引当金繰入額	78,011	67,904
退職給付費用	34,083	31,343
役員退職慰労引当金繰入額	16,812	16,645
賃借料	1,443,033	1,405,782
減価償却費	175,541	198,690

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年2月21日 至 平成24年8月20日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年2月21日 至 平成25年8月20日)
現金及び預金	1,558,076千円	1,109,560千円
預入期間が3か月超の定期預金	600,000千円	300,000千円
現金及び現金同等物	958,076千円	809,560千円

(株主資本等関係)

前第2四半期累計期間(自 平成24年2月21日 至 平成24年8月20日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月17日 定時株主総会	普通株式	166,200	15.00	平成24年2月20日	平成24年5月18日	利益剰余金

当第2四半期累計期間(自 平成25年2月21日 至 平成25年8月20日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月14日 定時株主総会	普通株式	110,790	10.00	平成25年2月20日	平成25年5月15日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社の報告セグメントは、ホームセンターのみであるため、記載を省略しております。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年8月20日)
1株当たり四半期純利益金額	22円66銭	21円09銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	251,067	233,651
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	251,067	233,651
普通株式の期中平均株式数(株)	11,079,689	11,078,635

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年9月26日

株式会社 セキチュー
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 瀬戸 卓

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 松田 道春

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社セキチューの平成25年2月21日から平成26年2月20日までの第63期事業年度の第2四半期会計期間(平成25年5月21日から平成25年8月20日まで)及び第2四半期累計期間(平成25年2月21日から平成25年8月20日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社セキチューの平成25年8月20日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。